

専門分野・成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	成人看護概論 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	黒川みゆき	実務経験	有
<p>&lt;科目のねらい&gt;            成人期にある対象の特徴と成人期の生活の中で特徴的な健康問題について理解し、健康の保持増進に向けた看護のあり方について理解できるようになることがねらいとする。</p> <p>&lt;到達目標&gt;            1. ライフサイクルからみた成人期の位置づけと意義、成人各期の成長・発達・健康障害について理解できる。            2. 成人期の健康の特徴と健康の保持・疾病予防について理解できる。            3. 成人看護学実習で活用する理論・モデルを学び、健康教育の方法について理解できる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 成人看護学ガイダンス 2. 成人と生活	講義	
2回目	1) 対象の理解 2) 対象の生活		
3回目	1. 生活と健康 1) 成人を取り巻く環境と生活からみた健康 2) 生活と健康をまもりはぐくむシステム	講義	
4回目	1. 成人への看護アプローチの基本 1) 生活の中で健康行動を生み、はぐくむ援助 2) 人々の集団における調和や変化を促す看護アプローチ 3) チームアプローチ	講義	
5回目	4) 看護におけるマネジメント 5) 看護実践における倫理的判断 6) 家族支援		
6回目	1. ヘルスプロモーションと看護 2. 健康を脅かす要因と看護	講義	
7回目	1. 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 2. 障害がある人の生活とリハビリテーション	講義	
8回目	1. 慢性病との共存を支える看護 2. 人生の最期の時を支える看護	講義	
9回目	1. 学習者である患者への看護技術 1) エンパワメント-エデュケーション	講義・グループワーク	
10回目	2) セルフマネジメントを推進する看護技術		
11回目	1. 健康指導 指導計画書の作成	講義・グループワーク	
12回目	2. プレゼンテーション		
13回目	1. リフレクション	講義・グループワーク	
14回目			
15回目	筆記試験		
評価方法	筆記試験 50%・ポートフォリオによるルーブリック評価 50%		
受講生に対するメッセージ	成人看護学実習の基礎となる学習内容であるため、一つ一つの演習を確実に学習し実習の足掛かりとしてほしい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院		
参考書	事例を通してやさしく学ぶ中範囲理論入門 第2版 日総研 国民衛生の動向 2022/2023		